

令和3年度 指定管理者制度モニタリング評価表

令和4年3月31日現在 (A)

1. 施設概要

施設名	尼崎市立弥生ヶ丘斎場 (尼崎市弥生ヶ丘町1-1)			
主な事業内容	<ul style="list-style-type: none"> 火葬運転業務、斎場応接業務、斎場事務業務 斎場施設の維持管理業務 			
指定管理者名	公益財団法人 尼崎環境財団	指定期間	H31. 4. 1～R6. 3. 31	
施設所管課	健康福祉局 生活衛生課	所属長名	村田 和彦	

2. 目標・指標

施設の設置目的	葬儀式場施設の提供及び火葬に関する業務を行う					
施設のありたい姿	ダイオキシン等に対する環境対策を積極的に行うとともに、故人とのお別れを厳粛な中で行えるよう人生の終焉の場にふさわしい荘厳さを備えた施設					
指標	施設（火葬場）の性質上、指標の設定は馴染まないため未設定					
目標	施設（火葬場）の性質上、目標の設定は馴染まないため未設定	R1(H31)	R2	R3	R4(見込)	R5(見込)
		—	—	—	—	—

3. 各項目における評価

項目		説明	評価
有効性	指定事業の実施	協定書や仕様書に定められた取組ができたか。	B
	自主事業の実施	指定管理者の提案による利用者満足度向上等ための自主事業を実施できたか。	B
	利用者ニーズの把握	利用者のニーズを把握し、事業実施や新たな取組に生かすことができているか。	B
	市民等の参画	施設運営や取組の実施に際して、市民や利用者の参画が得られたか。	—
	事業の効果	指定管理者が実施した事業に効果があったか。	B
	目標の達成度	施設における目標の達成度はどうだったか。	—
	パートナーシップ	パートナーとして市と協働が図れているか。	B
効率性	施設の保守管理	施設の保守、破損等の修繕を適正に実施できたか。	B
	経費削減・環境配慮の取組	経費削減や環境配慮につながる取組を実施しているか。	B
	利用率向上の取組	利用者増や収入増につながる取組を実施しているか。	—
	接遇・サービス	利用者に対する接遇やサービスが良かったか。	B
適正性	法令遵守	施設の管理運営や設備点検などが、法令等に沿って適正に実施されているか。	適正
	施設の経営状況	指定管理を行っている事業者本体や施設における経営状況は適正であるか。	適正
	危機管理	事故防止の安全対策や防犯・防災対策が適切にとられているか。	適正
	履行状況	提案時及び年度当初の計画等のおりに業務を行ったか。	適正

評価の凡例 S…特に優れている。A…優れている。B…標準である。C…改善が必要である。

※適正性については、「適正」もしくは「改善要」のどちらかで評価する。

<評価する上で参考となるデータ、実績など>

(火葬件数の推移)

(単位：件)

区分	H30年度	R元年度	R2年度	R3年度	R4年度
大人	4,865	4,793	4,976	5,235	5,106
子供	13	13	6	6	6
死産児	45	58	39	38	37
胞衣等	772	739	706	630	706
合計	5,695	5,603	5,727	5,909	5,855

※ R4年度は、見込み件数で記載。

4. 総評

施設所管課の所見

<実績・成果>

- ・火葬業務を適切に実施するとともに、設備面の各種点検を実施し、安定的した施設運営を行った。
 - ・火葬件数が増加する冬季において、休場日である友引日を開場し、火葬の混雑を緩和する取り組みを行った。(1月、2月で計4回実施)
 - ・老朽化に伴う火葬炉設備等の改修工事を実施するにあたり、市や工事施工業者と連携し、来場者(市民や葬祭事業者等)への周知を確実にし、現場での混乱を招かない対応を適切に行った。
 - ・施設内での新型コロナウイルス感染防止対策として、来場者及び職員のマスク着用及び手指消毒の徹底、施設内の定期消毒、従事職員の控室の分散化を継続実施した。
- また、施設内(告別室・収骨室)でのソーシャルディスタンスを確保し、コロナ禍においても市内唯一の火葬場を閉鎖することがないよう、遺族等への丁寧な説明に努めながら来場者の人数制限を実施した。

<課題>

- ・斎場指定管理における効率的な運営体制への検討

<課題に対する改善の方向性>

- ・定期的な協議の場を設け、双方の意見や方向性を共有しながら、経費面を含めた効率的な運営体制への検討を進めていく。

指定管理者からの所見

<事業実施や施設管理を振り返って>

- ・事故を発生させることなく、年間約5,900件の火葬業務を実施したほか、葬儀式場、遺体保管庫等の使用許可業務についても適正に実施した。
- また、火葬設備の故障等による不測の事態が発生した場合には、火葬業務に支障をきたさないよう迅速に対応するとともに、経費面を含めた効率的な運営体制に資するため、節電などによる経費削減にも努めた。

<市とのパートナーシップ(協働)を振り返って>

- ・定期的な協議の場を設け、双方の意見や方向性を共有しながら、経費面を含めた効率的な運営体制への検討を行うとともに、遺族等の協力を得ながら新型コロナウイルス感染症への拡大防止にも取り組んだ。

双方の意見を踏まえた今後の方向性

- ・ダイオキシン等に対する環境対策を積極的に行うとともに、故人とのお別れを厳粛な中で行えるよう人生の終焉の場にふさわしい荘厳さを備えた施設を目指し、市と指定管理者とのパートナーシップをより深めながら、経費面を含めた効率的な運営体制への検討を進めていく。

令和3年度 指定管理者制度モニタリング評価表

令和4年3月31日現在 (A)

1. 施設概要

施設名	尼崎市弥生ヶ丘墓園 (尼崎市弥生ヶ丘町2-1) 尼崎市西難波墓園 (尼崎市西難波町2)		
主な事業内容	・墓園使用許可等・相談業務 ・墓園施設の維持管理業務		
指定管理者名	公益財団法人 尼崎環境財団	指定期間	H31. 4. 1～R6. 3. 31
施設所管課	健康福祉局 生活衛生課	所属長名	村田 和彦

2. 目標・指標

施設の設置目的	市民の宗教的感情に適合し、且つ公衆衛生その他公共の福祉の見地から設置される施設					
施設のありたい姿	市民の宗教的感情に適合し、且つ公衆衛生その他公共の福祉の見地から設置される施設					
指標	施設(墓園)の性質上、指標の設定は馴染まないため未設定					
目標	施設(墓園)の性質上、目標の設定は馴染まないため未設定	R1(H31)	R2	R3	R4(見込)	R5(見込)
		—	—	—	—	—

3. 各項目における評価

項目		説明	評価
有効性	指定事業の実施	協定書や仕様書に定められた取組ができたか。	B
	自主事業の実施	指定管理者の提案による利用者満足度向上等ための自主事業を実施できたか。	—
	利用者ニーズの把握	利用者のニーズを把握し、事業実施や新たな取組に生かすことができているか。	B
	市民等の参画	施設運営や取組の実施に際して、市民や利用者の参画が得られたか。	—
	事業の効果	指定管理者が実施した事業に効果があったか。	B
	目標の達成度	施設における目標の達成度はどうだったか。	—
	パートナーシップ	パートナーとして市と協働が図れているか。	B
効率性	施設の保守管理	施設の保守、破損等の修繕を適正に実施できたか。	B
	経費削減・環境配慮の取組	経費削減や環境配慮につながる取組を実施しているか。	B
	利用率向上の取組	利用者増や収入増につながる取組を実施しているか。	—
	接遇・サービス	利用者に対する接遇やサービスが良かったか。	B
適正性	法令遵守	施設の管理運営や設備点検などが、法令等に沿って適正に実施されているか。	適正
	施設の経営状況	指定管理を行っている事業者本体や施設における経営状況は適正であるか。	適正
	危機管理	事故防止の安全対策や防犯・防災対策が適切にとられているか。	適正
	履行状況	提案時及び年度当初の計画等のおりに業務を行ったか。	適正

評価の凡例 S…特に優れている。A…優れている。B…標準である。C…改善が必要である。
※適正性については、「適正」もしくは「改善要」のどちらかで評価する。

<評価する上で参考となるデータ、実績など>

施設(墓園)の性質上、指標等の設定は馴染まないため区画数等を記載する。

- ・尼崎市弥生ヶ丘墓園 5,250基 48,022㎡
- ・尼崎市西難波墓園 1,410基 2,577㎡

4. 総評

施設所管課の所見

<実績・成果>

- ・使用者資格の適正化に向けた承継等事務については、利用者事情を丁寧に聞き取り、市・指定管理者双方が対応経過の情報を共有したうえで取り組んでいた。また、先例のない事例等についても、双方の協議により適正に対応していた。
- ・快適な施設環境の下で参拝ができるよう、参道、トイレの清掃やごみの回収を適正に実施していた。
- ・墓地需要への対応として実施した墓地募集（弥生ヶ丘墓園で103区画）において、双方の協議により役割分担を明確にし、これに沿って適正に対応していた。

<課題>

- ・墓園指定管理における効率的な運営体制への検討

<課題に対する改善の方向性>

- ・定期的な協議の場を設け、双方の意見や方向性を共有しながら、経費面を含めた効率的な運営体制への検討を進めていく。

指定管理者からの所見

<事業実施や施設管理を振り返って>

- ・使用者資格の適正化に向けた墓園の許可・届出業務とともに、墓園の維持管理に関する利用者ニーズも高くなっていくことから、市とパートナーシップを強化し、適正な指定管理業務に取り組んでいきたい。

<市とのパートナーシップ(協働)を振り返って>

- ・定期的な協議の場を設け、双方の意見や方向性を共有しながら、経費面を含めた効率的な運営体制への検討を行う必要がある。

双方の意見を踏まえた今後の方向性

- ・市と指定管理者とのパートナーシップをより深めながら、経費面を含めた効率的な運営体制への検討を進め、適正な施設運営に努める。